

松山市男女共同参画事業実施計画 令和3年度 実績報告（統計版）

令和4年11月
松山市 市民部 市民生活課

実績報告の概要

- 各事業を担当課で自己評価（目標への達成度、課題、成果など）
- 全事業を市民生活課で取りまとめ・分析
- 男女共同参画会議でのご意見を加え、報告書を市ホームページに掲載

主要課題 1 男女の人権の尊重

～互いを理解し尊重します～

- 20事業のうち、0事業が中止、10事業が一部中止・縮小・変更
- 目標達成度の平均値 3.8点／5点
- 男女共同参画への配慮度の平均値 4.1点／5点

【課題と成果】

- 開催方法をオンライン開催に変更し、昨年度より参加者数が増加した事業もあるが、参加者数は伸び悩んでいる事業が多い。
- 講座の参加者アンケートでは、理解が深まった、参考になったという声を多数いただいた。また、オンライン開催をするなど、新型コロナウイルス感染症流行期でも、相談等の事業を継続することで、支援につながり、成果が出ている。

主要課題 2 社会制度・慣行の見直し ～豊かに暮らせる社会を目指します～

- 9事業のうち、1事業が中止、3事業が一部中止・縮小・変更
- 目標達成度の平均値 3.7点 / 5点
- 男女共同参画への配慮度の平均値 4.5点 / 5点

【課題と成果】

- コムズフェスティバルでは、メインイベントを幅広い年代の市民が利用しやすいYouTube配信で行い、コロナ前の来場数を上回る視聴者数となった。
- 男女共同参画に関する各種実態調査は、インターネットで回答したいという意見もあり、インターネットでアンケートを実施するメリット・デメリットを考え、すべての方が回答しやすい方法を検討し、回収率の増加を目指したい。

主要課題 3 方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～

- 14事業のうち、1事業が中止、6事業が一部中止・縮小・変更、1事業が令和2年度で事業終了
- 目標達成度の平均値 4.0点／5点
- 男女共同参画への配慮度の平均値 4.3点／5点

【課題と成果】

- 若い世代の参加を増やすためにSNSを活用することや、オンライン開催に適さない講座等の実施方法を検討するなど、効果的な事業が必要である。
- 松山市審議会等の女性登用計画では昨年に引き続き、目標の40%を達成し、44.1%となった。

主要課題 4 仕事と生活の調和

～仕事と生活の調和が図られる社会目指します～

- 29事業のうち、2事業が中止、6事業が一部中止・縮小・変更
- 目標達成度の平均値 3.3点／5点
- 男女共同参画への配慮度の平均値 4.2点／5点

【課題と成果】

- 全国的に保育士の確保が厳しくなっており、負担軽減のためのICT化の補助や魅力の発信などを通して、保育士の確保を目指している。
- 在宅就労者として就労困難者を雇用した事業所の雇用が増え、働き方の多様性が促進された。県市が連携して就労支援に取り組み、支援した103名の女性の就職が決定した。また、職業訓練奨励金の年齢要件の拡充により、氷河期世代を含む訓練生の再就職支援に繋がった。

主要課題 5 地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～

- 8事業のうち、0事業が中止、5事業が一部中止・縮小・変更
- 目標達成度の平均値 3.8点 / 5点
- 男女共同参画への配慮度の平均値 3.8点 / 5点

【課題と成果】

- 防災シンポジウムに参加した女性の割合は18.2%と低く、女性や小学生から高齢者まで切れ目なく、幅広い世代の方々に参加していただける方を検討する必要がある。
- 女性防災士を対象としたオンライン研修会では、コロナ禍での防災活動の苦労や工夫、女性目線の地域防災に関するアイデアなどを共有できた。

主要課題 6 教育分野での男女共同参画

～豊かな人間性を育む教育を目指します～

- 10事業のうち、1事業が中止、8事業が一部中止・縮小・変更
- 目標達成度の平均値 3.9点／5点
- 男女共同参画への配慮度の平均値 4.6点／5点

【課題と成果】

- 多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止や縮小、オンラインでの実施等となり、今後も引き続き、対面以外の実施方法を検討する必要があると答えた課が多い。
- 人権啓発フェスティバルでは、オンライン講演に対し、「手話や字幕もあり、様々な方が視聴できる工夫がされており感心した」など、好意的な意見を多数いただいた。

総まとめ

- 数値目標に達成している事業が90事業中37事業ある中、目標の50%の値に満たない事業も16事業あるため、数値目標を達成できるように、底上げをしていく必要がある。
- 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や開催方法が変更・縮小になった事業が多くあったが、中止となった事業は減少した。今後も質を低下させず事業を継続するために計画の時点から効果的な開催方法や手段の検討が必要である。
- 男女共同参画への配慮度は、5点満点が90事業中35事業で、特に「⑤検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた」のチェック数が他の項目よりも少ないため、客観的な評価を取り入れる工夫が必要である。

松山市男女共同参画事業実施計画 実施状況一覧

主要課題	事業数	中止	一部中止・縮小・変更
1 男女の人権の尊重 ～互いを理解し尊重します～	20	0	10
2 社会制度・慣行の見直し ～豊かに暮らせる社会を目指します～	9	1	3
3 方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	14 うち、R2で1事業終了	1	6
4 仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	29	2	6
5 地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	8	0	5
6 教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	10	1	8
合計	90 うち、R2で1事業終了	5	38

松山市男女共同参画事業実施計画 自己評価一覧

主要課題	目標達成度の 平均値	男女共同参画への 配慮度の平均値
1 男女の人権の尊重 ～互いを理解し尊重します～	3.8	4.1
2 社会制度・慣行の見直し ～豊かに暮らせる社会を目指します～	3.7	4.5
3 方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	4.0	4.3
4 仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会目指します～	3.3	4.2
5 地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	3.8	3.8
6 教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	3.9	4.6
事業実施計画全体	3.7	4.2

男女共同参画会議からの提言

- 女性防災士の数は増えてきているが、災害時こそ、男女共同参画の意識が顕著に出てくるので、防災士一人一人の男女共同参画意識の醸成をもっと図っていくべきではないか。
- 男女共同参画への配慮度(※)のチェック項目の⑤は、客観的な評価ができたのにできていないものと、そもそもできないものに分けて、アンケート以外の評価の方法も示せれば、男女共同参画についての配慮が客観化され、質が上がってくるのではないか。
- 審議会等の女性登用については、今は目標値を目指すことが大事だが、今後は女性委員の数だけでなく、その審議会等に必要な意見が反映されているかなどの質の検証も必要ではないか。
- 成果には、その事業が基本計画の主要課題に対してどのように活かされたかを記載したほうがよいのではないか。

※男女共同参画への配慮度は、下記の5項目をチェックして採点を行う。

- ①松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した
- ②事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した
- ③広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した
- ④男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした
- ⑤検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた